

# 「家庭ごみ」についてのアンケート

## <調査概要>

調査方法: インサーチモニターを対象としたインターネット調査  
分析対象者: 札幌市内在住の15歳以上男女  
調査実施期間: 2009年5月7日(木)～5月11日(月)  
有効回答者数: N=436

全体	436名	100%
男性	205名	47%
女性	231名	53%

実施機関: 株式会社インサイト

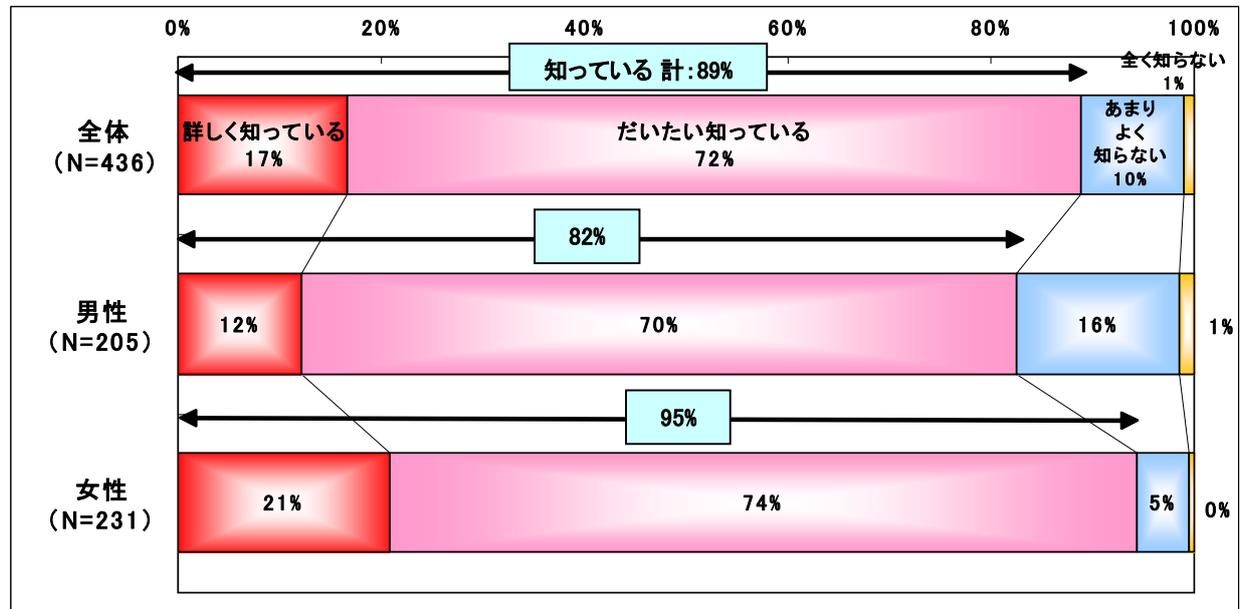
## <結果の要約>

- 「ごみ処理」に対する意識や取り組みは男性より女性の方が積極的。
- ごみを減らすための行動として、「買い物袋を持参している」割合は全体の84%を占める。
- 7月から始まる「家庭ごみの有料化」は全体の95%に認知されており、92%が今後「ごみを減らす工夫をする」意向を示している。
- 「有料化になるごみ(燃やせるごみ、燃やせないごみ)」については6割以上が理解している一方、資源物などの「無料回収になるごみ」について詳しく理解している割合は4割以下にとどまる。
- 「家庭ごみの有料化」に対する生活者の意見として、「有料化は仕方がない」と思う一方、不法投棄など「ルール・マナー違反」に対する懸念の声も目立つ。

### 【「ごみ処理方法」についての理解】

<分別品目/分別方法>

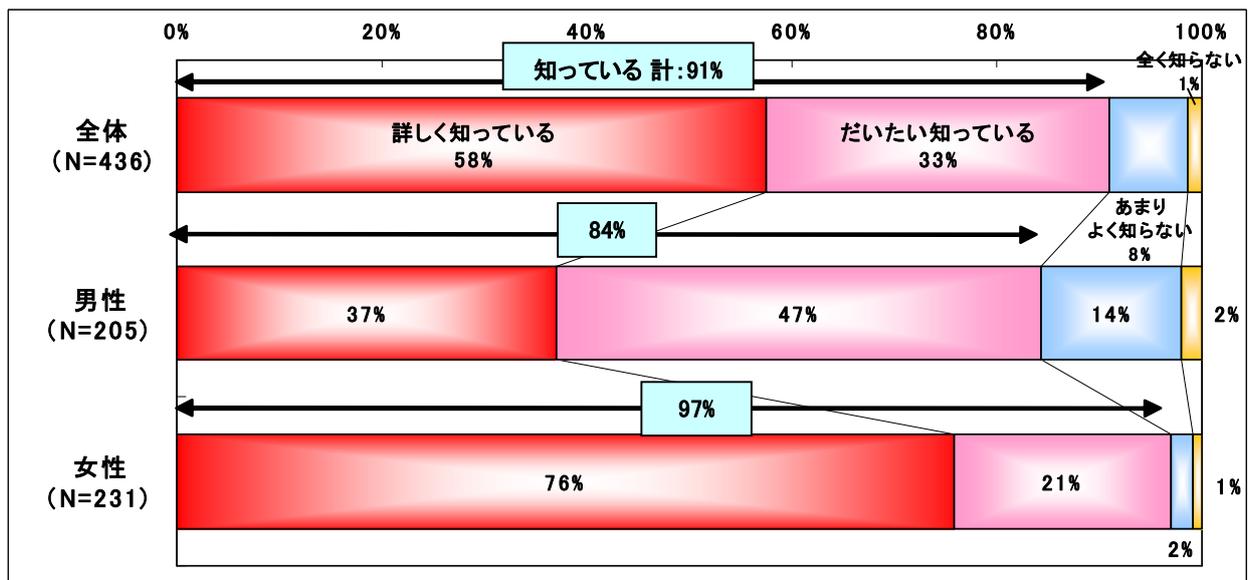
Q:あなたは、札幌市における現在の「家庭ごみの分別品目・分別方法」を知っていますか。



※Base:全体

<ごみ収集曜日/頻度>

Q:あなたは、ご自分のお住まいの各家庭ごみ(燃やせるごみ、燃やせないごみなど)の収集曜日・頻度を知っていますか。

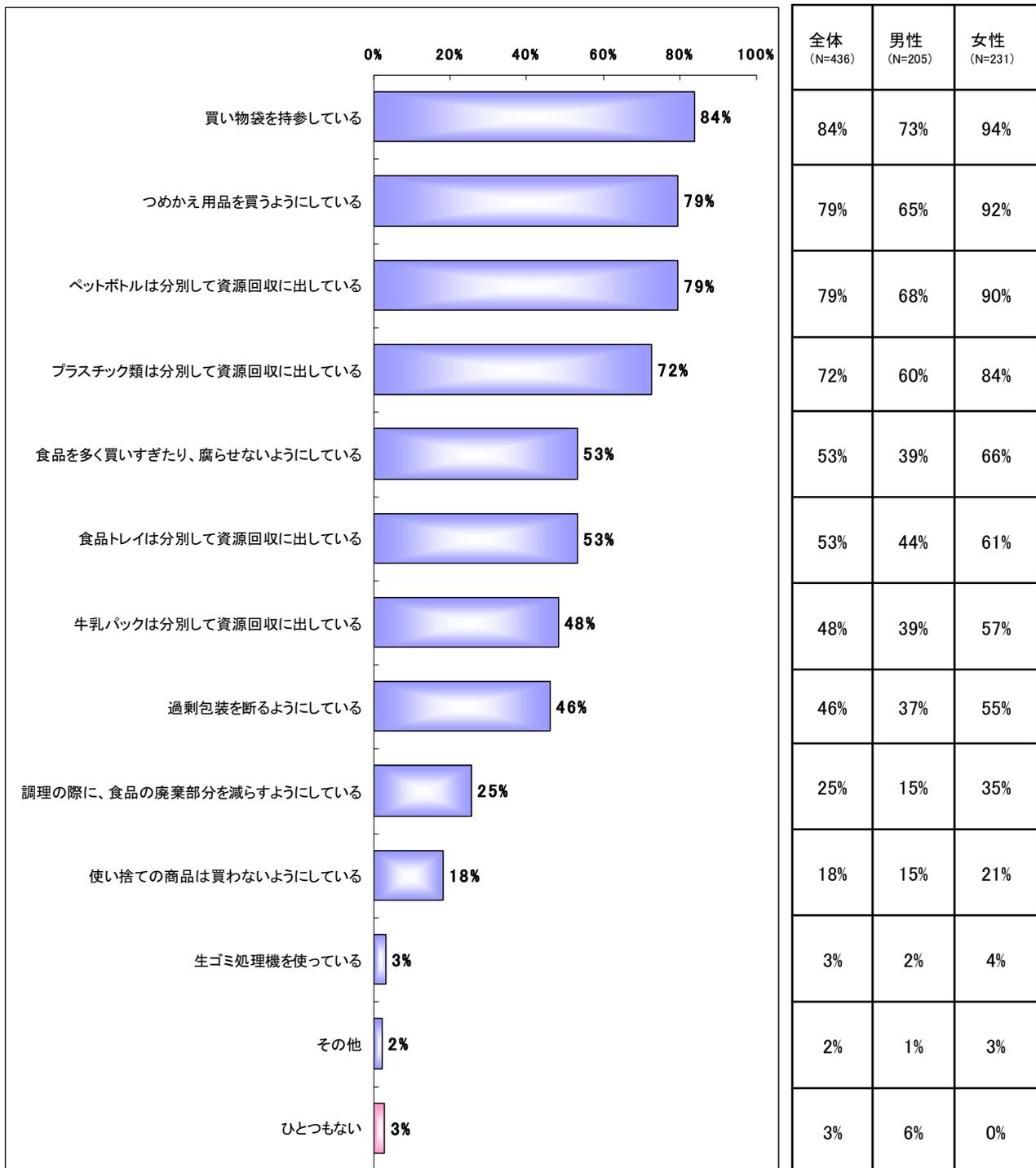


※Base:全体

- 「ごみの分別品目・分別方法」、「ごみ収集曜日・頻度」共に、9割近くが理解している。特に、「ごみ収集曜日・頻度」については、6割近くが“詳しく”理解している。
- 男女別では、「ごみの分別品目・分別方法」、「ごみ収集曜日・頻度」共に、男性は女性に比べ理解している割合が低い。

### 【「ごみの減量」のための取り組み】

Q:あなたが、普段、ごみを減らすためにしていることをすべてお選びください。(いくつでも)

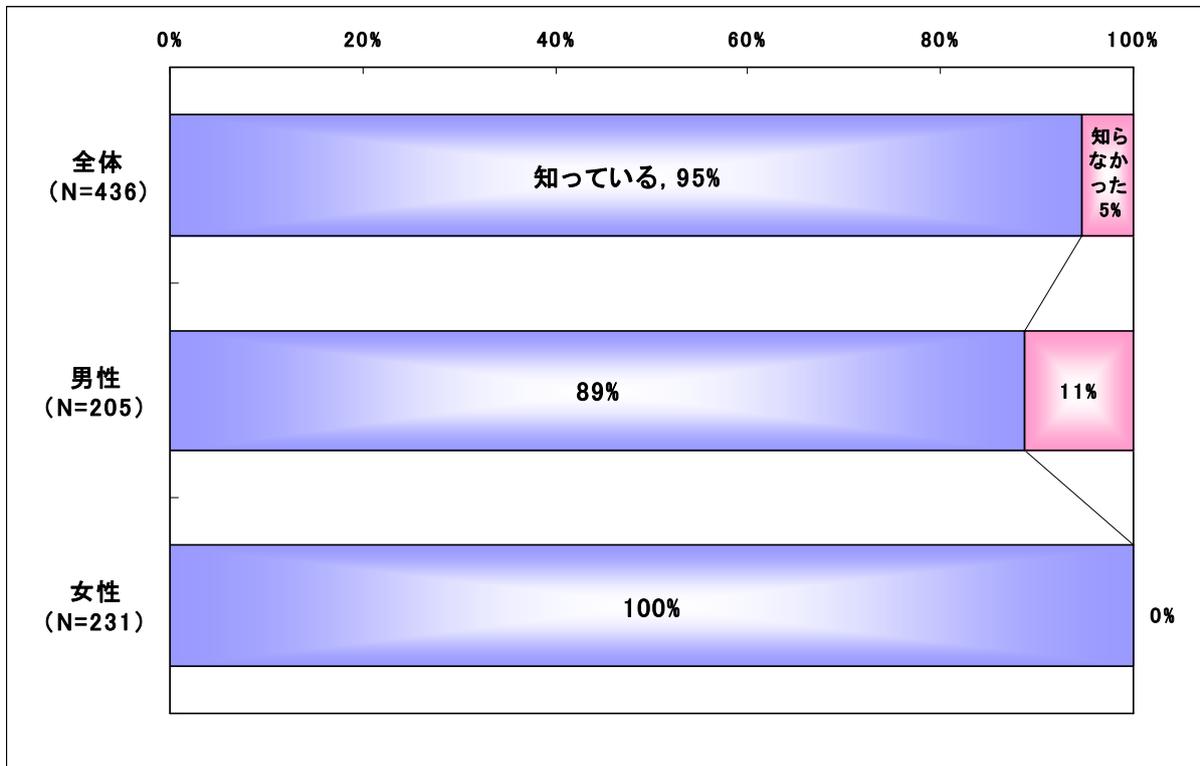


※Base: 全体(N=436)

- 「買い物袋の持参」、「つめかえ用品の利用」、「ペットボトルの分別」、「ペットボトル類の分別」については7割以上がごみを減らすために普段から取り組んでいる。
- 男女別では、男性よりも女性の方が積極的にごみ減量化への努力をしている傾向がうかがえる。

### 【札幌市における家庭ごみの有料化】の認知度】

Q: 札幌市では、平成21年7月1日より、家庭から出るごみの回収が有料になります。あなたはこのことを知っていましたか。

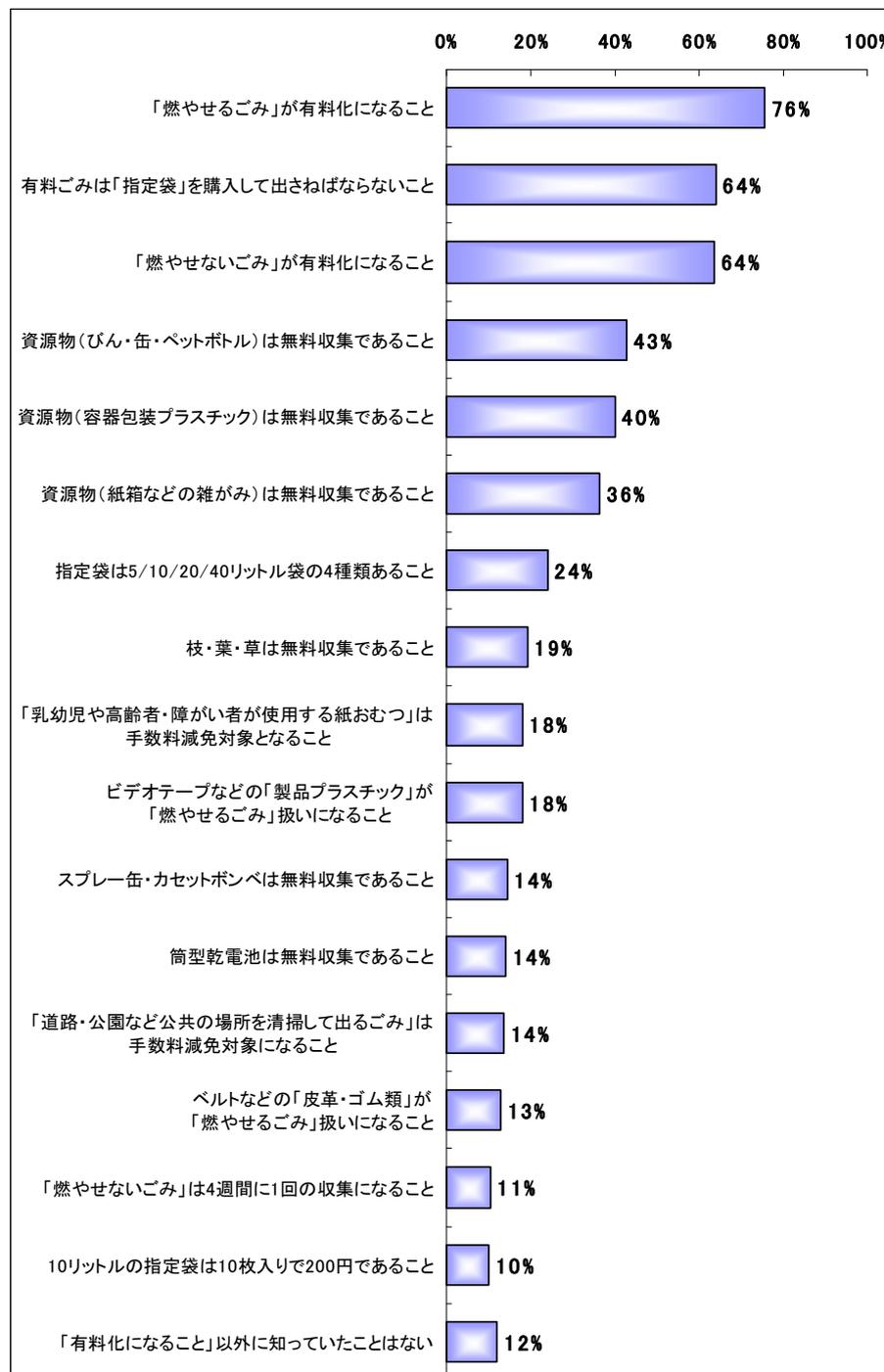


※Base: 全体

➤ 7月からはじまる「札幌市における家庭ごみ有料化」については、大半(95%)が認知している。  
特に、女性は全員(100%)が認知している。

## 【札幌市内の家庭ごみ有料化】について知っていたこと

Q:平成21年7月1日から始まる「札幌市の家庭ごみの有料化」について、あなたが知っていたことをすべてお選びください。(いくつでも)



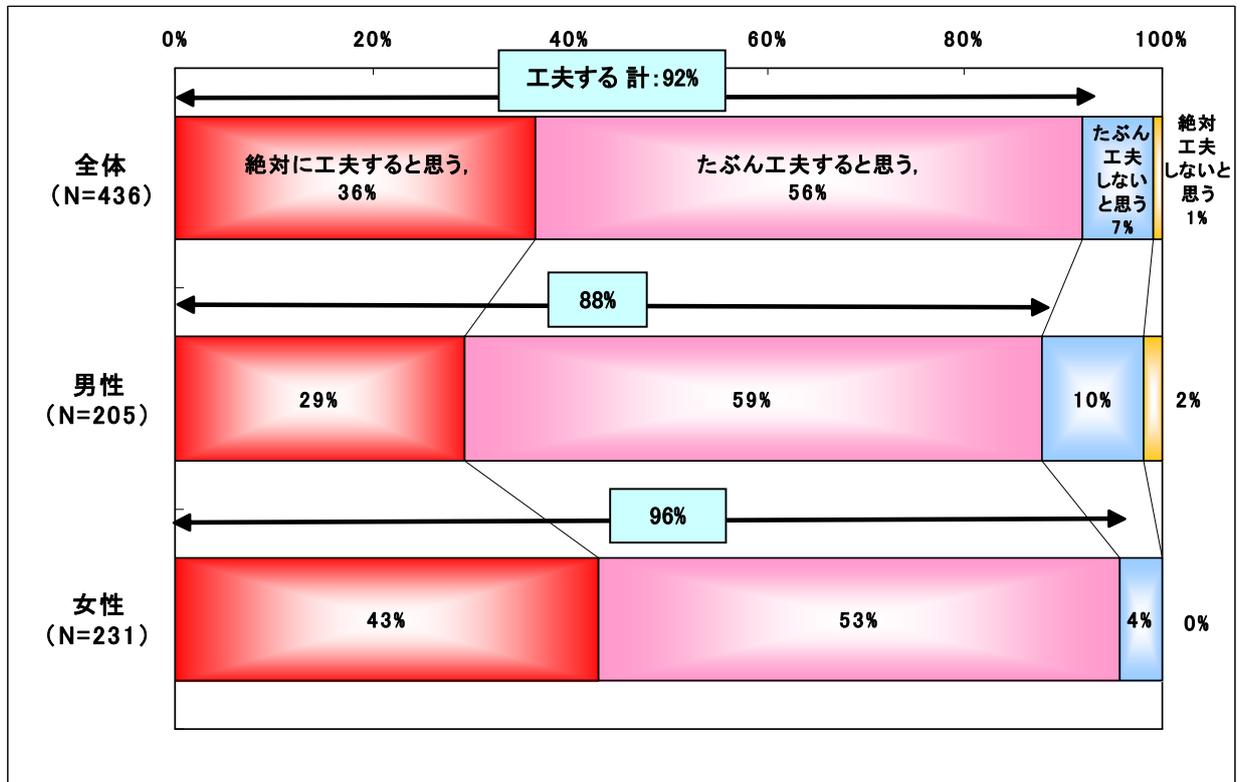
	全体 (N=436)	男性 (N=205)	女性 (N=231)
「燃やせるごみ」が有料化になること	76%	66%	84%
有料ごみは「指定袋」を購入して出さねばならないこと	64%	51%	75%
「燃やせないごみ」が有料化になること	64%	56%	70%
資源物(びん・缶・ペットボトル)は無料収集であること	43%	32%	52%
資源物(容器包装プラスチック)は無料収集であること	40%	30%	48%
資源物(紙箱などの雑がみ)は無料収集であること	36%	28%	44%
指定袋は5/10/20/40リットル袋の4種類あること	24%	20%	27%
枝・葉・草は無料収集であること	19%	17%	22%
「乳幼児や高齢者・障がい者が使用する紙おむつ」は手数料減免対象となること	18%	9%	26%
ビデオテープなどの「製品プラスチック」が「燃やせるごみ」扱いになること	18%	14%	21%
スプレー缶・カセットボンベは無料収集であること	14%	15%	13%
筒型乾電池は無料収集であること	14%	13%	15%
「道路・公園など公共の場所を清掃して出るごみ」は手数料減免対象になること	14%	9%	17%
ベルトなどの「皮革・ゴム類」が「燃やせるごみ」扱いになること	13%	10%	15%
「燃やせないごみ」は4週間に1回の収集になること	11%	10%	11%
10リットルの指定袋は10枚入りで200円であること	10%	9%	11%
「有料化になること」以外に知っていたことはない	12%	15%	10%

※Base: 全体(N=436)

- 「燃やせるごみが有料化になること」、「有料ごみは指定袋を購入して出すこと」、「燃やせないごみが有料化になること」は6割以上に理解されている一方、それ以外の項目についての認知率は半数未満にとどまる。
- 男女別では、全般的に男性よりも女性の方が理解している割合が高い。

【「家庭ごみの有料化」によるごみの減量意向】

Q: 「家庭ごみの有料化」が開始されたら、あなたは家庭ごみを減らす工夫をしますか。



※Base: 全体

➤ 全体の約9割(男性:88%、女性:96%)が、「家庭ごみの有料化」により、今後、ごみを減らす工夫をする意向を示している。

## 【「家庭ごみの有料化」に対する意見】

Q: 「家庭ごみの有料化」について、あなたの考えを自由にご記入ください。

### 【主要意見】

- ・もちろん、お金が掛からずに収集してもらえると助かるのですが、有料化も仕方がないのかな・・・と思っています。(20代女性)
- ・以前住んでいた地域では有料だったので特別なこととは思わない。(30代女性)
- ・環境の事を考えると仕方がないと思う。(40代女性)
- ・有料化は、しかたがないのかもしれないが生ゴミなど大きな店などが集めて企業がそれを堆肥化し出来た肥料は安く売りに出すなど地方でしている取り組みを札幌でも広げてほしい。やり始めは大変と思うが是非してほしい。(50代女性)
- ・導入は遅すぎたぐらいだが、もっと啓蒙しないと違法放置ごみが増えそう。札幌市民の民度が試される。(50代男性)
- ・有料化は必要だと考える。ただし、その費用がどのように使われているかは明確にしてほしい。(30代男性)
- ・ゴミを減らすために必要な方法だと思う。(40代男性)
- ・良いことなので、お金がかかっても仕方がない。分別をやりやすく、分かりやすく、排出日等を説明したパンフレットがほしい。日にちや曜日をすぐ忘れてたり、判断に迷ったりする年になってきたので。(60代男性)
- ・もっと詳しく誰でもが分かるように広報誌だけでなくTVやCM等でも頻繁にゴミのことについて(分別方法等)やってほしいと思う。そうしないと、不法投棄が増えるような気がします。(30代女性)
- ・環境のためにゴミを減らす努力は必要だが、2人住まいのため燃やせるゴミはスーパーのレジ袋で十分なので、袋を購入するには若干抵抗があります。(30代女性)
- ・各家庭に半年ごとにゴミ袋をきまった枚数無料配布してほしい。(30代男性)
- ・有料化自体はいつかはくる事だと思っていたので特に何も思わないが、ごみが有料化になりごみの不法投棄が多くなるのではないかと心配。私の住んでる地域では大型ごみの不法投棄が多く、そのせいで税金が使われていると思うと非常に遺憾に思っています。(20代女性)
- ・有料化にすればごみを減らそうとする人もいる一方、不法投棄も増えると思うので、一概に有料化がいいとは思えない。(30代女性)
- ・家の前がゴミステーションなので、指定ゴミ袋に入れていない場合、どうなるか心配です。いつまでも置いてあったり、鳥が散乱させたら、今までの掃除だけでなくゴミ袋も家の負担になると思う。(50代女性)
- ・通勤路にあるゴミステーションは、いつもルールが守られていない。そこに住んでいる住民が若者が多いことが原因と考えられる。このへんのケアはどうするんでしょう？ルール無用のゴミステーションがますます増える気がします。(40代男性)
- ・有料化して得たお金を何に使用するのが、わからないのでその説明をしてほしい(40代男性)
- ・有料化になってもごみの量はあまり減らない気がします。家族でもっとごみの出し方について話し合いが必要だと思いました。(30代女性)

※本ページに掲載されている調査結果は、出典先を「マーケティングリサーチシステム インサーチ」と明記の上、自由にご利用ください。

<その他のお問い合わせ先>

株式会社 インサイト インサーチ事務局

e-mail : [info@insearch.jp](mailto:info@insearch.jp)